



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 08318949 A

(43) Date of publication of application: 03.12.1996

(51) Int. Cl. B65D 21/02  
B65D 81/32

(21) Application number: 07150810  
(22) Date of filing: 24.05.1995

(71) Applicant: YOSHINO KOGYOSHO CO LTD  
(72) Inventor: SUZUKI KAZUO

## (54) PAIRED CONTAINER

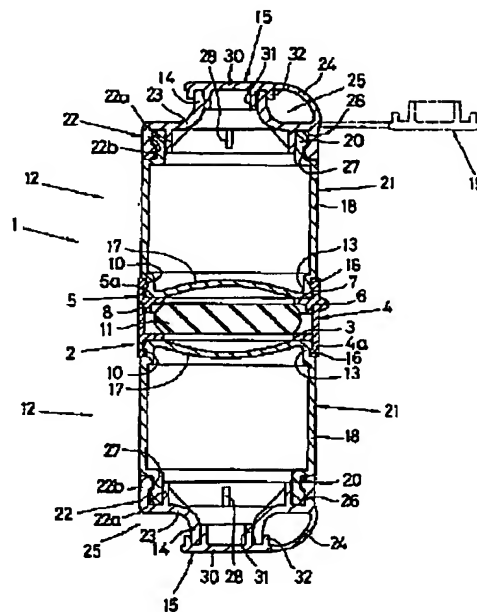
## (57) Abstract:

**PURPOSE:** To provide a paired container of which the manufacturing cost is low because a puff case, being a separate body, is not required, and also, of which the using handiness is favorable.

**CONSTITUTION:** A paired container 1 is constituted by connecting both cylindrical bodies 4, 5 with the same internal diameter, for which the upper cylindrical body 5 is mounted on the upper end surface of the lower cylindrical body 4, with a thin hinge 6. Then, the paired container 1 is constituted of a connecting member 2 which makes both cylindrical bodies 4, 5 be fitted with a short cylinder 8 hanging from the upper cylindrical body 5 in such a manner that both cylindrical bodies 4, 5 can be opened/closed from the mounting surface with the thin hinge 6 as a pivot, a puff 11 being housed between inward flanges 3, 7 which are peripherally provided on the internal surfaces of both cylindrical bodies 4, 5, and top and bottom, a pair of bottles 12, 12 of which the bottom parts 13, 13 are fixed in a lower cylindrical part 4a of the lower cylindrical body 4 and in an upper cylindrical part 5a of the upper cylindrical body 5 respectively, and also, of which the mouth

parts 14, 14 are respectively closed with plug lids 15, 15. Then, the connecting member 2 and the bottles 12 are formed of a synthetic resin material.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-318949

(43)公開日 平成8年(1996)12月3日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 21/02			B 6 5 D 21/02	Z
81/32			81/32	Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平7-150810

(22)出願日 平成7年(1995)5月24日

(71)出願人 000006909

株式会社吉野工業所

東京都江東区大島3丁目2番6号

(72)発明者 鈴木 一男

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

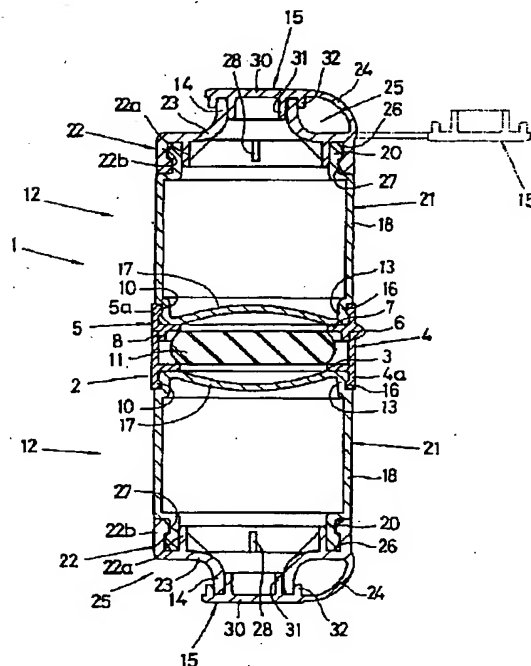
(74)代理人 弁理士 今岡 良夫

(54)【発明の名称】 ペア容器

(57)【要約】

【目的】 製造コストの安い、かつ使い勝手のよいペア容器を提供する。

【構成】 ペア容器1を、下方筒体4の上端面へ上方筒体5を載置した同内径の両筒体4、5を肉薄ヒンジ6で連結するとともに、載置面から肉薄ヒンジ6を中心に開閉可能に上記両筒体4、5を上方筒体5から垂下する短筒8を介して嵌合させた連結部材2と、上記両筒体4、5の内面に周設した内向きフランジ3、7間へ収納させたパワ11と、上記下方筒体4の下方筒部分4a内と上方筒体5の上方筒部分5a内とへそれぞれ堰底部13、13を固着させ、かつ栓蓋15、15で堰口頸部14、14をそれぞれ閉塞する上下一対の堰体12、12とで構成し、上記連結部材2と堰体12とを合成樹脂材で形成した。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 下部内面に第 1 内向きフランジ 3 を有する下方筒体 4 の上端面へ、同内径をなす上方筒体 5 の下端面を載置して、それ等両筒体の当接部分外縁の一部を肉薄ヒンジ 6 で連結するとともに、上方筒体 5 の下端に付設した第 2 内向きフランジ 7 から垂設した短筒 8 を下方筒体 4 の上部内面へ、上記肉薄ヒンジ 6 を中心とする、両筒体上下両端面の開閉が自在に嵌合させた連結部材 2 と、上記両内向きフランジ 3、7 間へ収納させたバフ 11 と、上記下方筒体 4 の第 1 内向きフランジ 3 下方筒部分 4 a 内と、上方筒体 5 の第 2 内向きフランジ 7 上方筒部分 5 a 内とへ、堰底部 13、13 をそれぞれ固着するとともに、堰口頸部 14、14 を栓蓋 15、15 で開閉可能に閉塞させた上下一対の堰体 12 とからなり、上記連結部材 2 と堰体 12 とを合成樹脂材で形成したことを特徴とするヘア容器。

【請求項 2】 上記堰体 12 を、底壁 17 周縁から堰胴部 18 を起立し、該堰胴部の上端部を第 1 嵌合筒部 20 とする堰本体部 21 と、上記第 1 嵌合筒部 20 へ水密に、かつ凹凸の嵌合手段を介して第 2 嵌合筒部 22 を嵌着固定し、該第 2 嵌合筒部の上端から肩部 23 を介して堰口頸部 14 を起立するとともに、上記肩部 23 外周縁の一部から側外方へ突設した弾性帯片 24 先端に、上記栓蓋 15 を付設した合成樹脂製肩部材 25 とで形成し、上記弾性帯片 24 の弾性に抗して彎曲させた状態で、栓蓋 15 を上記堰口頸部 14 内面へ嵌合させて形成したことを特徴とする請求項 1 記載のヘア容器。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、互いに相関する内容液を収納するヘア容器に関する。

【0002】

【従来の技術】 実開平 3-38735 号公報に記載されているヘア容器では、口頸部にキャップを嵌合した第 1 堰体と、該第 1 堰体と同一大きさ、かつ同形状の第 2 堰体と、左右両側面を開放するとともに、頂壁の左右両端より中間方向へ、各堰体の口頸部を挿入させる切込み部をそれぞれ設けた収納ボックスとからなり、上記収納ボックスの両側面開口部より各堰体を挿入係止して、各堰体を収納ボックスに着脱自在に装着している。このようなヘア容器は、上記両堰体に互いに相関する内容液例えば使用順序が決まった二種の、また使用直前に混合する二種の、更には濃度の異なる二種の内容液で 1 セットとなる化粧液を収納している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、化粧液は通常バフにしみ込ませて、肌に塗布されるため、上述した従来のヘア容器に化粧液を収納させて販売するときには、上記バフを収納する別体のケースを用意する必要があり、製造コストが高くなるという問題が生じる。また

ヘア容器とバフケースとが別体でバラバラになるから、これらを 1 まとまりに保管しなければならないという問題もある。

【0004】 本発明は上記事情に鑑みなされたもので、上下両端内面に 2 個の堰体を固着する連結部材を、下方筒体の上端面へ上方筒体を載置した同内径の上下 2 個の筒体を肉薄ヒンジで連結するとともに、肉薄ヒンジを中心に開閉可能に上記両筒体を短筒を介して嵌合させて形成し、かつ両筒体の内面にそれぞれ付設した内向きフランジ間にバフを収納させることで、別体のバフケースを必要としない製造コストの安い、かつ使い勝手のよいヘア容器を提供する。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明の第 1 手段は、下部内面に第 1 内向きフランジ 3 を有する下方筒体 4 の上端面へ、同内径をなす上方筒体 5 の下端面を載置して、それ等両筒体の当接部分外縁の一部を肉薄ヒンジ 6 で連結するとともに、上方筒体 5 の下端に付設した第 2 内向きフランジ 7 から垂設した短筒 8 を下方筒体 4 の上部内面へ、上記肉薄ヒンジ 6 を中心とする、両筒体上下両端面の開閉が自在に嵌合させた連結部材 2 と、上記両内向きフランジ 3、7 間へ収納させたバフ 11 と、上記下方筒体 4 の第 1 内向きフランジ 3 下方筒部分 4 a 内と、上方筒体 5 の第 2 内向きフランジ 7 上方筒部分 5 a 内とへ、堰底部 13、13 をそれぞれ固着するとともに、堰口頸部 14、14 を栓蓋 15、15 で開閉可能に閉塞させた上下一対の堰体 12、12 とからなり、上記連結部材 2 と堰体 12 とを合成樹脂材で形成した。

【0006】 また、本発明の第 2 手段は、第 1 の手段を有するとともに、上記堰体 12 を、底壁 17 周縁から堰胴部 18 を起立し、該堰胴部の上端部を第 1 嵌合筒部 20 とする堰本体部 21 と、上記第 1 嵌合筒部 20 へ水密に、かつ凹凸の嵌合手段を介して第 2 嵌合筒部 22 を嵌着固定し、該第 2 嵌合筒部の上端から肩部 23 を介して堰口頸部 14 を起立するとともに、上記肩部 23 外周縁の一部から側外方へ突設した弾性帯片 24 先端に、上記栓蓋 15 を付設した合成樹脂製肩部材 25 とで形成し、上記弾性帯片 24 の弾性に抗して彎曲させた状態で、栓蓋 15 を上記堰口頸部 14 内面へ嵌合させて形成した。

【0007】

【作用】 連結部材 2 は図 1 が示すように、その内部にバフ 11 を収納し、また上下両端内面に堰底部 13、13 を固着しているから、バフ 11 及び一対の堰体 12、12 は何れもも散逸することがない。該状態から図 2 が示すように上、下両筒体 4、5 の嵌合部分が肉薄ヒンジ 6 を中心として開くよう、下方の堰体 12 に対して上方の堰体 12 を倒すことでバフ 11 を取り出すことができ、堰体 12、12 を順次に開閉して、堰体 12、12 内の化粧液をバフ 11 にしみ込ませて肌に塗布する。塗布後、バフ 11 を第 1 内向きフランジ 3 の上面に載置して、下方筒体 4 の上部内面へ短筒 8 を

嵌合し、連結部材 2 の内部に収納する。なお上記開栓時に、栓蓋 15 は弾性帯片 24 によって図中二点鎖線で示す位置に退避する。

【0008】

【実施例】本発明のペア容器 1 は図 1 が示すように、連結部材、バフ、及び一対の壺体とからなり、上記バフを除く上記各部材をそれぞれ合成樹脂材で形成している。

【0009】連結部材 2 は、下部内面に第 1 内向きフランジ 3 を有する下方筒体 4 の上端面へ、同内径をなす上方筒体 5 の下端面を載置して、それ等両筒体 4、5 の当接部分外縁の一部を肉薄ヒンジ 6 で連結するとともに、上方筒体 5 の下端に付設した第 2 内向きフランジ 7 から短筒 8 を垂設して、該短筒を下方筒体 4 の上部内面へ、両筒体 4、5 の当接端面が上記肉薄ヒンジ 6 を中心として開閉可能に嵌合させて形成している。なお、下方筒体 4 の下端内面と、また上方筒体 5 の上端内面とは、それぞれ係合突条 10、10 を周設しており、また下方筒体 4 の第 1 内向きフランジ 3 下方筒部分 4 a 長さ上上方筒体 5 の第 2 内向きフランジ 7 上方筒部分 5 a 長さを等しく形成している。

【0010】バフ 11 は、上記両内向きフランジ 3、7 間へ、収納させている。図示例では両内向きフランジ 3、7 の各内周縁を、バフ 11 の外周縁部に当接させている。

【0011】上下一対の壺体 12、12 は同一形状、かつ同一大きさであって、壺底部 13、13 を、上記下方筒体 4 の第 1 内向きフランジ 3 下方筒部分 4 a 内と、上方筒体 5 の第 2 内向きフランジ 7 上方筒部分 5 a 内とへ、それぞれ固着するとともに、壺口頸部 14、14 を栓蓋 15、15 で開閉可能にそれぞれ閉塞している。上記壺底部 13 の下端外面に、既述係合突条 10 へ拔出し不能に係止する凹条 16 を周設している。図示例では、壺底部 13 と上方筒体 5 の上方筒部分 5 a との固着は、凹条 16 と係合突条 10 との係止により行っているが、その他手段で固着することも可能である。なお、上記上下一対の壺体 12、12 は形状及び大きさが同一であるから、以下、壺体 12 についての説明は上方の壺体 12 について行い、下方の壺体 12 の説明は省略する。

【0012】図示例では、壺体 12 と栓蓋 15 とを一体に設けるために、上記壺体 12 を、底壁 17 周縁から壺胴部 18 を起立し、該壺胴部の上端部を第 1 嵌合筒部 20 とする壺本体部 21 と、上記第 1 嵌合筒部 20 へ水密に、かつ凹凸の嵌合手段を介して第 2 嵌合筒部 22 を嵌着固定し、該第 2 嵌合筒部の上端から肩部 23 を介して壺口頸部 14 を起立するとともに、上記肩部 23 外周縁の一部から側外方へ突設した弾性帯片 24 先端に、上記栓蓋 15 を付設した合成樹脂製肩部材 25 とで形成し、上記弾性帯片 24 の弾性に抗して弯曲させた状態で、栓蓋 15 を上記壺口頸部 14 内面へ嵌合させて形成している。

【0013】なお、上記第 2 嵌合筒部 22 は第 1 嵌合筒部 20 の内、外面へ嵌合させる内、外二重の筒部 22 a、22 b

で構成しており、該外筒部 22 b の上部内面に凹条 26 を周設している。また第 1 嵌合筒部 20 は、その上部外面に上記凹条 26 に係止する突条 27 を周設している。上記肩部 23 の下面から内筒部 22 a の内面にかけては、内筒部 22 a を補強する複数のリブ 28 を付設している。なお図示例では、4 個のリブを上記内筒部 22 a の内周に沿って均等に配列している。

【0014】図示例では既述栓蓋 15 を壺口頸部 14 内面へ、確実に施栓するために、栓蓋 15 を頂板 30 と、該頂板の下面からそれぞれ垂下した蓋内筒部 31、蓋外筒部 32 とで形成しており、該蓋内筒部、蓋外筒部は上記壺口頸部 14 の内、外両面にそれぞれ嵌着させている。なお、ペア容器 1 を図 1 に示すように起立可能にするために、上記蓋本体 30 の上面を平らに、かつ径を大きく設けるとよい。

【0015】以上、本実施例では壺体 12 の製造コストを安価にするために、上下一対の壺体 12、12 を同一形状、かつ同一大きさとして説明したが、少なくとも壺底部 13、13 が同一形状、かつ同一大きさで、かつ壺胴部 18、18 の外径が同じであれば、上下の壺体 12、12 の容量は異なってもよい。このようにすると、本発明のペア容器 1 に使用比率の異なる二種の液体を収納させることもできる。

【0016】

【発明の効果】請求項 1 記載の発明は既述構成とするもので、上下両端内面に 2 個の壺体 12、12 を固着した連結部材 2 を、下方筒体 4 の上端面へ上方筒体 5 を載置した同内径の両筒体を肉薄ヒンジ 6 で連結するとともに、載置面から肉薄ヒンジ 6 を中心に開閉可能に上記両筒体を短筒 8 を介して嵌合させて形成し、かつ両筒体の内面にそれぞれ付設した内向きフランジ 3、7 間にバフ 11 を収納させたので、別体のバフケースを必要としない製造コストの安い、かつ使い勝手のよいペア容器 1 を提供することができる。

【0017】請求項 2 記載の発明は、上記請求項 1 記載の発明の効果を有するとともに、上記肩部 23 外周縁の一部から側外方へ突設した弾性帯片 24 先端に付設した栓蓋 15 を、弾性帯片 24 の弾性に抗して弯曲させた状態で、壺口頸部 14 を閉塞するようにしたので、栓蓋 15 を壺体 12 に一体設けることが可能となり、壺体 12、12 内液体をバフ 11 にしみ込ませるとき、栓蓋 15、15 が邪魔しない操作のし易い良いペア容器 1 を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】バフを収納した状態を示すペア容器の縦断面図である。

【図 2】バフを取り出す状態を示すペア容器の説明図である。

【符号の説明】

- |   |      |   |      |
|---|------|---|------|
| 1 | ペア容器 | 2 | 連結部材 |
| 4 | 下方筒体 | 5 | 上方筒体 |

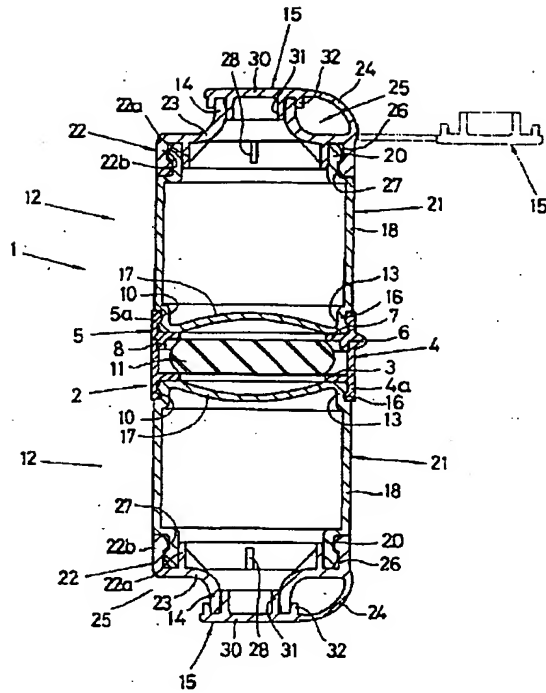
6 肉薄ヒンジ

11 パフ

\* \* 12 壺体

15 栓蓋

【図1】



【図2】

